

地域おこし協力隊活動レポート

地域おこし協力隊とは、大都市圏に住んでいた方が、地方に移住し、地域の活性化を図るとともにその地での自立定住を目指す取り組みです。

今月号から協力隊員の人となりや、活動内容等をご紹介します。

vol.01 (担当) ^{くれぼやし} 暮林まどかさん

「土の産物」＝野菜で、長瀬町の魅力をお届けしています。

私の協力隊のミッションは「地元食材を活かしたお土産品の開発と地域の魅力をPRする」です。着任してから毎日、魅力を探しに町を歩き回りました。そこでの発見や町民の方々との交流の中で、お土産＝土の産物であることに着目しました。畑の野菜といっしょに町の魅力も詰め込んだ直送便「Torocoloながとろ町のお土産野菜」を生産者さんたちと立ち上げました。都内を中心に関西、中部地方、北海道のお客さまにもお届けし“顔のわかる野菜”“会いに行きたくなる野菜”と喜んでいただいております。今年はかりんと野菜を使った商品開発にも取り組む予定です。もし、ご自宅にかりんの木をお持ちの方がいらっしゃいましたらお知らせください！



^{くれぼやし} 2019年11月に協力隊に着任しました暮林まどかです。

空き家や農地の利活用で、みなさんのお役に立ちたいです。

Torocoloのお客さまをお招きしたり、みなさんと何か楽しいことができる場所を作りたいと思い、私自身がお借りできる空き家を探しております。そんな中、家主さんたちとお話しをしていると、空き家にまつわるお困りごとやご依頼などを承ることも増えました。草刈りやお掃除など、今の私にできることをお手伝いさせてもらうのですが、それがとっても楽しいんです。「食」の活動と「暮らし」をつなぐお手伝いを通して、より深く町を知ることができ、毎日わくわくさせてもらっています。みなさんとの出会いを楽しみに毎日、町内を歩いておりますので、お見かけくださいましたらぜひお声がけください。どうぞよろしく願いいたします！



畑の野菜と町の魅力をお客さまにお届けしています。